

長崎県長崎市立大浦小学校

(概要)

- ・ 児童生徒数（クラス数）：497名（18クラス）
- ・ 構造・階・面積・事業費：鉄筋コンクリート造、4階建て、6,098㎡、約21億5,600万円
- ・ エコスクールの事業タイプ：省エネルギー・省資源型、太陽光発電型
- ・ 整備期間：（検討期間：H18.06～H19.03、工事時期・期間 H19.09～H21.03）
- ・ 要旨

（エコスクール化への取組について）

本市では環境問題への対策として長崎市環境基本計画が策定されている。学校建設においても、環境への負荷の低減や環境教育・環境学習に役立てる観点から、近年新設校においてエコスクールの整備充実を図っている。

(エコスクール化の内容)

- ・ 建築物の屋上面に降った雨水を貯留し簡易ろ過によるリサイクル利用を行うシステム。
- ・ 建築物基礎を活用した地下貯水槽（100t）を設け、再利用水は便所洗浄水・屋外運動場や学級農園への散水等に活用している。
- ・ 太陽光発電用パネル（10kw）は屋上に設置してあり、授業でも活用するためには児童の安全確保を十分に図る必要がある。
- ・ 昇降口に太陽光発電で太陽光発電システムの発電電力表示や原理説明用の表示装置を設置し太陽エネルギーの利用と省エネを実感し、環境に対する意識向上を図る。



屋上に設置した太陽光発電用パネル



児童昇降口正面に設置した説明用表示装置

(エコスクール化の効果)

- ・ 便所の洗浄水、学級農園また屋外運動場に散水用のスプリンクラーを設置しているがその利用水として雨水を活用し節水を行っている。
- ・ 学校使用電力量の約7%を太陽光発電で得た電力でまかなっている。

(環境・エネルギー教育への活用)

- ・ 第4学年では、社会科の学習で「健康なくらしをまもる仕事」という単元で、飲料水等の確保や資源の有効活用の大切さについて学習をする。また、総合的な学習の時間（みのり）で、環境問題についても取り組んでいく。
- ・ 子どもたちが学習に取り組む中で、身近である自分たちの学校がエコスクールであることを知り、自分たちの生活の中で、電気や水といった資源を大切にするという気持ちを育てていく。



大浦小学校の太陽光発電について、児童が調べたことについて説明している。「本日の発電電力量12時現在31.8kw/hです。みなさん、家庭での電気などを大切にしましょう。」



雨水貯水タンクを見て学習しているところ



屋上太陽光発電システムを調べているところ

